

第 3 号 大内子ども会だより

平成 22 年 2 月 発行

発行元

大内地区子ども会育成連絡協議会

事務局：大内地域交流センター

TEL：083-927-0473

先人の技や知恵、地域の方々の思いを感じて・・・

12月23日（水）、大内地域交流センターにて、三世交流「輪飾り・ミニ門松作り」を行いました。この行事は、大内青少協の協力を得ながら、地域の方を講師に迎えて、毎年正月前に行っている伝統的な行事です。



輪飾り作りは、俣賀 哲、吉野秀一、内田邦一の3氏から、しめ縄の作り方や輪飾りの作り方を教わりました。わらを縄にする手さばきは、そう簡単に身につくものではありませんが、毎年参加している親子は、慣れた手さばきで美しい輪飾りを作っていました。



また、ミニ門松作りは、青少協や地区子連の役員から、竹の加工の仕方や組み立て方を教わり、親子で一緒にミニ門松を作成しました。



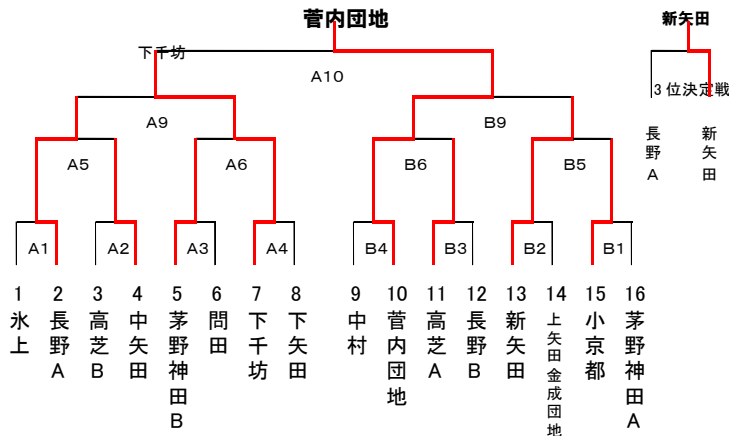
ミニ門松作りの材料は、竹だけでなく、松、梅、ナンテンなどがあります。それらの材料は青少協の方々に準備していただきました。また、輪飾りの材料も、地域の方から提供いただいた



わらを事前にすぐっておくという作業を行ったり、当日の朝、山に登ってウラジロ（シダの葉）を採集したり、ユズリハの葉を準備したりしました。それらの材料には地域の方々の思いが詰まっています。その思いを感じながら、輪飾りやミニ門松を作ることができたでしょうか。

完成後には温かいぜんざいを食べました。感謝の心とともに、体も温まりました。

冬のフェスティバルの綱引き大会は、管内団地が優勝



1月23日(土)は、綱引き大会の後、各町内ごとに5人組

をつくり、全34組が6つのゲームに挑戦しました。

①「ジャンボジャンケン」は、グー、チョキ、パーを体で表現し、勝てば負けた相手からカードをもらうゲームです。②「くぐってくぐって大なわとび」は、3つのゴムひもをくぐり、5人で大なわとびを跳んで速さを競うゲームです。③「ドッチビーシューティング」は、5人がドッチビーを投げて9枚のボードを抜く速さを競うゲームです。④「丸太転がり」は、4人が丸太役になって転がり、上に乗っている一人を落とさずに10m進むゲームです。⑤「まほうのじゅうたん」は、5人がじゅうたんの外に落ちることなく大小2枚のじゅうたんを使って6m進むゲームです。⑥「バトルジャンケン」は、5人が一人ずつ順番にジャンケンをして帽子を5個集める速さを競うゲームです。

種目	最高記録	記録チーム	所属町内
①	10枚	第18組	長野
		第30組	茅野神田
②	14秒78	第18組	長野
③	24秒36	第13組	高芝
④	21秒49	第4組	上矢田
⑤	30秒03	第5組	高芝
⑥	41秒14	第17組	長野

子どもたちは、みんな楽しく取り組んでいました。記録は大内子ども会のホームページ(<http://ouchikodomokai.web.fc2.com/>)に掲載しています。最高記録を大内記録とします。



① ジャンボジャンケン



② くぐってくぐって大なわとび



③ ドッチビーシューティング



④ 丸太転がり



⑤ まほうのじゅうたん



⑥ バトルジャンケン